

## 第1回 芦田川の今後を考える学識懇談会を開催しました。

### 開催状況

芦田川の今後の川づくりを検討する「芦田川の今後を考える学識懇談会」（委員長・尾島勝福山大学教授）の第1回懇談会が、1月28日に開催されました。

芦田川の流域の概要、現状と課題について確認し、今後の芦田川の川づくりについては、委員から「植物、魚などの生態系に配慮した川づくりを進めて欲しい」などのご意見がありました。

また、「芦田川の今後を考える学識懇談会」は、原則公開で行うこととしておりますので、一般の方々の傍聴もできます。

今後の開催予定は、ニュースレターでも情報提供を行います。



開催状況

### 「第1回 芦田川の今後を考える学識懇談会」の提示資料の公開

「第1回芦田川の今後を考える学識懇談会」の資料については、下記で閲覧できます。

**閲覧場所** 国土交通省 福山河川国道事務所（福山市三吉町4-4-13）  
八田原ダム管理所（世羅郡世羅町大字小谷字苦谷山1100-1）

**HP** 国土交通省 中国地方整備局ホームページ  
<http://www.cgr.mlit.go.jp/>  
福山河川国道事務所ホームページ  
<http://www.fukuyama-mlit.go.jp/>  
八田原ダム管理所ホームページ  
[http://www.cgr.mlit.go.jp/hattabara/hattabara\\_page\\_00.htm](http://www.cgr.mlit.go.jp/hattabara/hattabara_page_00.htm)

### 住民説明会を下記のとおり開催します。

芦田川の河川整備について、地域住民の方々の意見をお聞きするための取組みの一環として、芦田川流域にお住まいの皆様へ、その内容について知っていただくとともに、ご意見をお聞きするために、住民説明会を開催します。

住民説明会対象市町村	開催日及び開催場所
① 府中市、世羅町にお住まいの皆様	平成17年2月23日(水) 19:00~20:30 府中市文化センター (定員200名)
② 福山市、神辺町にお住まいの皆様	平成17年2月24日(木) 19:00~20:30 広島県民文化センターふくやま (定員300名)

※ 参加者多数の場合は、先着順とさせていただきます。

### 発行者

国土交通省中国地方整備局  
福山河川国道事務所  
調査設計第一課  
〒720-0031 福山市三吉町4-4-13  
TEL 084-923-2620 / FAX 084-923-2557  
E-mail info@fukuyama-mlit.go.jp

# 川だより~芦田川~

ニュースレター  
第1号  
(H1724)

### ニュースレター発行にあたって

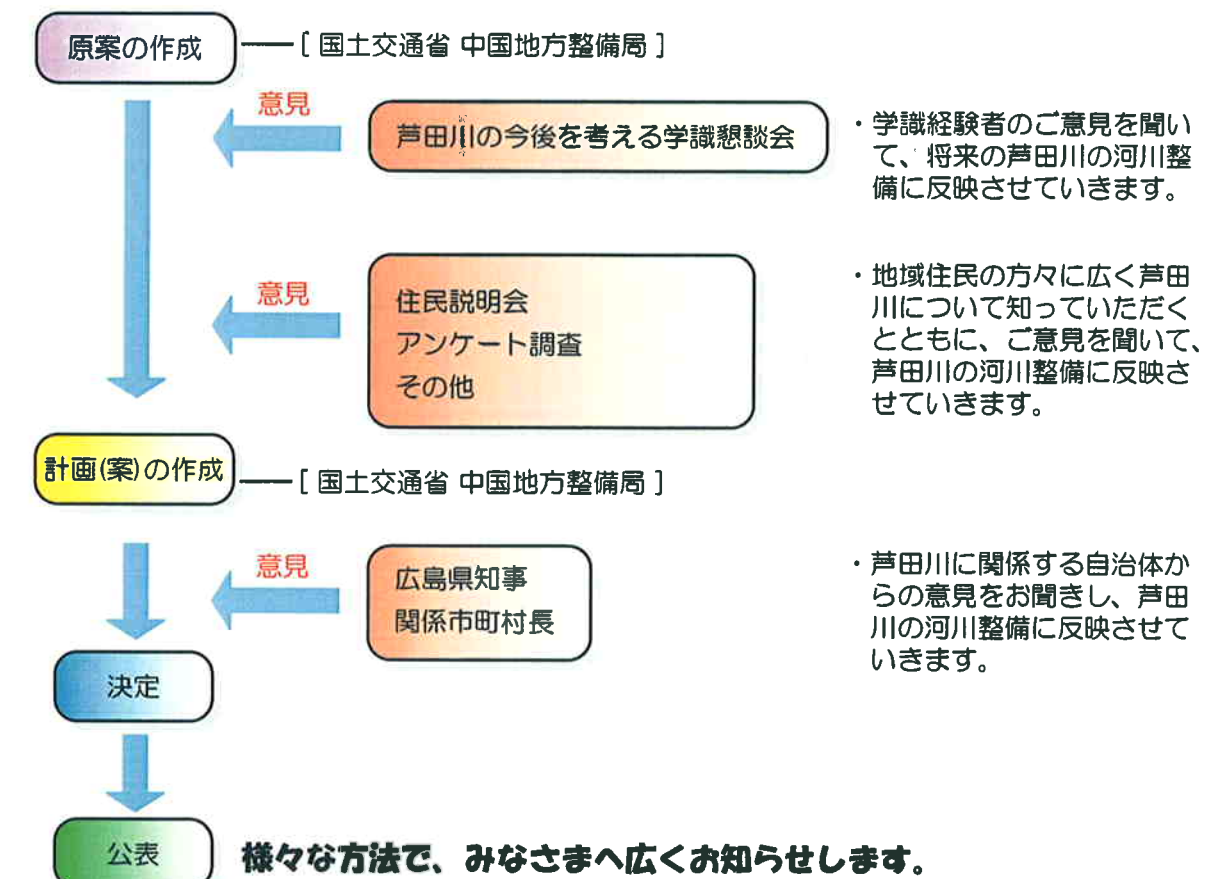
芦田川は流域の人々にうるおいとやすらぎを与えてくれる貴重な水と緑の空間です。これまでにおいても芦田川の特徴を生かした河川整備を推進してきましたが、芦田川は河川利用の要請が高く、良好な河川空間に対する地域の人々の関心はますます高くなっています。

国土交通省では、芦田川は地域の人々の共有財産であるという認識のもと、魅力的な芦田川を、将来を担う子どもたちに残していくために、川づくりに関する計画を策定する予定です。計画の策定にあたっては、川の歴史や現状等について広く地域の人々に理解と関心を深めていただき、皆様のご意見を踏まえながら提案していきたいと考えています。

このニュースレターはこのような趣旨のもと、芦田川の特徴や今後の川づくりに関する情報を皆さんに定期的に提供するものです。

### 芦田川の河川整備に関する計画策定の流れ

芦田川の河川整備計画の策定にあたっては、様々な方々の意見をお聞きます。





## 芦田川の現状と課題

### 芦田川流域



### 治水

芦田川では、以下のような治水上の課題があります。

- ・洪水を安全に流下させるには、まだ十分ではありません。
- ・固定堰や大きな中洲がたくさんあるので、洪水の流れを阻害しています。
- ・洪水を安全に流すため、堤防を強化していく必要があります。

### 洪水の状況



昭和20年9月洪水（府中市付近）



平成10年10月洪水（河佐峡付近）

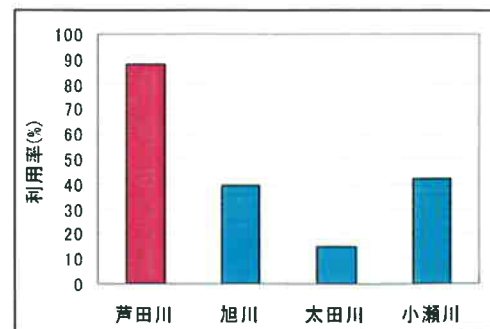
### 河川水の利用

芦田川流域は、瀬戸内式気候で小雨地域であるにもかかわらず、農業用水、水道用水、工業用水など、河川水の利用が多い河川です。

八田原ダムの完成で、安定した水の供給がされています。



濁水の状況（平成6年）



河川の水利用率

## 水環境

芦田川では、人口や産業の集積に対して下水道整備の遅れなどから、特に支川高屋川や瀬戸川の合流した下流部では水質汚濁が進行しています。

このため、流域対策や下水道事業と連携を図りながら、河川浄化施設の設置や流域市町・住民による取組みの支援や啓発活動などのさまざまな取組みを実施しています。



高屋川河川浄化施設



「見る見る館」での子供学習

## 河川空間の利用

芦田川河口堰は、洪水の流下といった治水に重要な役割を果たしている一方、塩害防止や工業用水の供給として利用されているほか、その静穏で広大な水面を利用し、ボート競技や水上スポーツが行われています。

また、高水敷は、散策、釣り等に利用されており、上流の河佐峡や芦田湖オートキャンプ場などは、キャンプ、川遊びなどの水辺のレクリエーションとして多くの人に利用されています。



河口堰での漕艇競技



河佐峡の川遊びの状況

## 自然環境

芦田川では、多くの動植物が生息しており、豊かな河川環境を持っています。

例えば、河口堰下流の干潟には、ハクセンシオマネキやスナガニ等の貴重な生物が生息し、河道内の中洲には、セイタカヨシ等の群落が生育し、オオヨシキリ、サギ類の営巣場所となっています。



スナガニの移植



セイタカヨシ